学校番号	2101

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）手芸基礎	単位数	２単位	年次	２年次以上（家庭基礎または家庭総合履修後）
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

普段使えるようなものの製作を通して、手芸の基礎知識について理解し、基礎的な技術を習得します。基礎的な技術は作品を制作しながら１つずつ習得できるようになっています。作品を制作する授業なので、授業に出席しコツコツと作業に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
手芸の基礎知識について理解することができる。手縫い、ミシン縫い、刺繍、編み物などの基礎的な技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
するべき作業を理解し、計画的に進めることができる。余った時間を利用してアレンジを加え、作品の完成度を高めることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
自分の作業内容を振り返り、反省を次の作業にいかすことができる。主体的に作業に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	手芸に関する基礎的な知識について理解を深め、作品の製作を通して、手芸の基本的な技能を身につけている。	授業内の作品制作について、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、作品制作に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	刺繍	オリエンテーション こぎん刺しのピンクッション	a:青森県津軽地方の伝統文化であるこぎん刺しについて、風土や歴史的背景について知る。刺繍の技術、玉止め玉結びなどの基本的な技術について習得している。 b:刺し方をよく考え、丁寧にかつ安全に配慮して実習に取り組んでいる。 c:刺し子の技法について関心を持ち、意欲的に実習に取り組んでいる。	作品 完成レポート 実技テスト	作品 完成レポート	実習態度 振り返り
	手縫い	手縫いでティッシュケースと巾着をつくろう	a:本返し縫い、半返し縫い、なみ縫い、まつり縫いなどの基本的な技術について理解し、習得している。縫い代の始末や、ひも通し口の作り方等について理解している。 b:作業手順についてよく考え、丁寧かつ安全に配慮して実習に取り組んでいる。 c:手縫いの作品作りについて関心を持ち、意欲的に実習に取り組んでいる。	作品 完成レポート 実技テスト	作品 完成レポート	実習態度 振り返り
後半	ミシン	エコバックでミシン縫いのプロになろう	a:ミシンの各部の名称、使い方などについて基本的な知識を理解する。布の扱い方、印付けや裁断、ミシンの基本的な縫い方、など基本的な技術について習得している。 b:作業手順についてよく考え、丁寧かつ安全に配慮して実習に取り組んでいる。 c:ミシン縫いの作品作りについて関心を持ち、意欲的に実習に取り組んでいる。	作品 完成レポート 実技テスト	作品 完成レポート	実習態度 振り返り

	ファスナー	ペンケースでファスナー付をマスターしよう	a:ファスナーのつけ方、布の端の始末の仕方など、基本的な知識を身につけ、技術を習得している。 b:作業手順についてよく考え、丁寧かつ安全に配慮して実習に取り組んでいる。 c:ミシン縫いの作品作りについて関心を持ち、意欲的に実習に取り組んでいる。	作品 完成レポート 実技テスト	作品 完成レポート	実習態度 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度